

議会報告会報告書

1. 開催地区名 男鹿中地区
2. 開催日時 令和8年8月8日（土）15時56分から17時20分まで
3. 出席議員 畠山 富勝（代表者） 鈴木 元章（職務代理者）
三浦 利通 古仲 清尚 猿田 真
4. 参加者数 20名

5. 意見・要望等

（1）議会に対する事項

- ① 人口の推移に合わせて議員定数も削減してきたと推察するが、人口減少に合わせた削減ありきでなく、市民の意見を吸い上げるためにも、地域性を十分に考慮した上で、議員定数の在り方を検討していただきたい。
- ② 昨年度に要望した議会報告会資料の事前配付に対応いただき大変ありがたい。

（2）市政に対する事項

- ① インバウンド誘客推進事業に多額の予算が措置されているが、本市への誘客と宿泊者数について、令和7年度の実績等も含めて、どの程度の増加を見込んでいるのか。
- ② 「子育て環境日本一」を掲げているが、他市町村との比較検討を行っているのか。この内容で真に日本一と言えるのか。また、取組内容を充実させ、あらゆる面で情報発信を強化するべきと考えるが、市外や県外に対してどのような広報・宣伝活動を展開しているのか。
- ③ ごみ処理広域化推進事業を進めるにあたり、収集場所の変更、収集回数の削減、料金の値上げなどがないよう、十分に配慮していただきたい。

- ④ 市民憲章推進協議会について、現在も男鹿中地区の協議会は精力的に活動している中、男鹿市としては市民憲章の理念を達成したという理解の下、解散に至ったのか。
- ⑤ 「子育て環境日本一」を掲げる中で、子育て施策のシンボリックな施設として「船越こども園」が整備されたが、当初から、入園者が定員割れすることがないように将来人口を見据えた施設規模の整備を訴えてきた。これに対し、「他市町村からの移住定住や広域入所の可能性も含めて利用定員を250人に設定した」とのことであったが、現在どのような実績の下で運営されているのか。
- ⑥ 当初は「船越・五里合・若美南・玉ノ池の4園」を統合し、船越こども園を開設するとしていたが、突然に小規模保育事業所である「わかみベビー園」の開設が計画に付け加えられた経緯がある。この論法からすると、北浦保育園が閉園される状況の中、ゼロ歳児から2歳児が増えた場合、北部地区にもベビー園を開設するという認識でよいのか。市はメリットだけでなく、デメリットも当初から示した上で計画等を提案していただきたい。
- ⑦ 国道101号（男鹿中滝川・船川港仁井山間）沿線の枝払いについて、道路管理者である県に対し、引き続き要望していただきたい。
- ⑧ 男鹿中コミュニティセンター敷地内の園庭など環境整備について、定期的に状況を確認し、計画的に対応していただきたい。
- ⑨ 県事業による滝川河川の浚渫工事について、引き続き迅速な対応を要望していただきたい。
- ⑩ 国道101号（旧男鹿中中学校跡地・男鹿中コミュニティセンター間）沿線の枝払いについて、道路管理者である県に要望していただきたい。
- ⑪ 国道101号浜間口バイパスの完成が遅れる中、現国道101号（牧野・浜間口間）沿線の枝払いについて、道路管理者である県に対し、強力に要望していただきたい。
- ⑫ 道路などの要望事項に対して「現地調査を行い、管理者である県へ要望する」としているが、現地調査時における市の把握状況や、要望時における県の回答状況が全く見えないことから、その状況等を地域に逐次報告していただきたい。これは市政懇談会時の要望対応としてもしかるべきである。
- ⑬ 令和6年度に要望した浜間口地内に存在する小型風力発電機（12基）の適

切な管理については行政から事業者に働きかけていただき、撤去する運びとなった。お礼申し上げたい。

- ⑭ 以前から要望している滝川河川の護岸改修について、測量等は実施しているものの、頻発化する大雨被害への対応等によって県の予算措置が先延ばしされるなど、いまだ着工に至っていない。護岸がひび割れしている箇所もあり、地域住民としては非常に不安を感じていることから、早期の対応を働きかけていただきたい。

6. 特 記 事 項

■協議等が必要な事項

(1) 議会に対する事項 な し

(2) 市政に対する事項

5. (2) のうち、③、④、⑦、⑨、⑩、⑪、⑫、⑭の事項について